

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-117833

⑬ Int. Cl.

H 04 B 9/00

識別記号

庁内整理番号

J-6538-5K

⑭ 公開 昭和60年(1985)6月25日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 光空間中継器

⑯ 特 願 昭58-224735

⑰ 出 願 昭58(1983)11月29日

⑱ 発 明 者 山 川 邦 雄 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
⑲ 発 明 者 橋 田 嘉 久 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
⑳ 出 願 人 松下電器産業株式会社 門真市大字門真1006番地
㉑ 代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

明 細 書

1、発明の名称

光空間中継器

2、特許請求の範囲

空間伝搬してきた近赤外光の信号を受光して電気信号に変換する受光素子と、前記電気信号を増幅する増幅器と、前記増幅器の出力を光信号に変換する発光素子を備えた光空間中継器。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明はアナログ信号あるいはデジタル信号を伝送する場合に用いることができる光空間中継器に関するものである。

従来例の構成とその問題点

一般にアナログ信号あるいはデジタル信号を屋内で伝送する場合、移動が容易であり、電磁波妨害を受けず、法規制のない点で光空間伝送方式が適している。

しかし従来の光空間伝送方式では第1図に示すように天井6に設置された光空間送信器1から近

赤外光2が机4上に置かれた光空間受信器3に直接送られていた。このため伝送距離は光空間送信器1の光出力に依存し、その結果伝送距離が短かいという問題があった。

発明の目的

本発明はこのような従来の問題を除去するものであり、光空間伝送方式の伝送距離を長くする優れた光空間中継器を提供するものである。

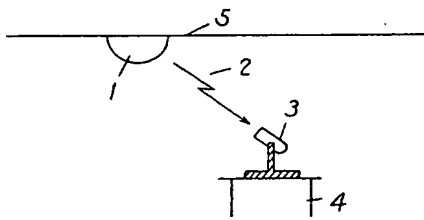
発明の構成

上記目的を達成するために本発明の光空間中継器は空間伝搬してきた近赤外の信号を受光して電気信号に変換する受光素子と、前記電気信号を増幅する増幅器と、前記増幅器の出力を光信号に変換する発光素子を備えて構成したものであり、光空間伝送方式の伝送距離を長くするものである。

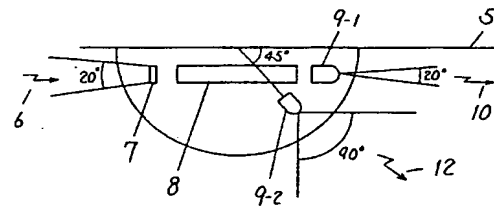
実施例の説明

以下本発明の一実施例を図面を参照して説明する。第2図は本発明による光空間中継器11のブロック図であり、受光素子7、増幅器8、発光素子9からなる。第3図は本発明による光空間中継

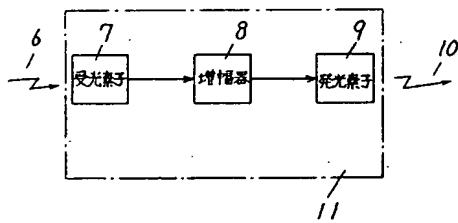
第 1 図



第 3 図



第 2 図



第 4 図

